

平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月9日

上場取引所 大

上場会社名 三光産業株式会社

コード番号 7922 URL <http://www.sankosangyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山原 剛之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務本部長 (氏名) 平井 孝正

四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 03-3403-8134

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	7,440	6.5	20	—	6	—	△86	—
22年3月期第3四半期	6,986	△15.6	△113	—	△98	—	△105	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	△13.99	—
22年3月期第3四半期	△16.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%		円 銭	%
23年3月期第3四半期	11,847	73.9	9,002	73.9	73.9	1,414.46	
22年3月期	12,332	72.3	9,162	72.3	72.3	1,440.15	

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 8,759百万円 22年3月期 8,919百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,100	6.5	120	—	130	—	84	—	13.56

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 2「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無
新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）、
(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有
(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 有
(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)
① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期3Q 7,378,800株 22年3月期 7,378,800株
② 期末自己株式数 23年3月期3Q 1,185,683株 22年3月期 1,185,604株
③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期3Q 6,193,156株 22年3月期3Q 6,247,356株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P. 2「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	1
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	1
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	1
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	2
(1) 重要な子会社の異動の概要	2
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	2
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	2
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 継続企業の前提に関する注記	7
(5) セグメント情報	7
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国等を中心とする新興国の需要拡大に支えられ、一部で緩やかな景気の回復がみられましたが、長引く円高や株価の低迷による影響が懸念されるなど、景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは提案型営業力の強化により、販路拡大に向けた積極的な営業活動を展開すると共に、収益体質の改善を図るため、生産効率の向上、製造原価及び販管費の低減などに力を注ぎ、業績改善に努めてまいりました。

当社グループの主要な業種別の概況は次のとおりであります。

(AV機器関連業種・・・日本、中国、マレーシアで製造、販売しております)

中国を中心とする新興国の需要に支えられてAV機器関連向けのラベル等の受注量が増加したものの、日本国内における受注量は減少傾向にあり、売上高は1,794百万円(前年同期比97.1%)となりました。

(OA機器関連業種・・・日本、中国、マレーシアで製造、販売しております)

日本、中国におけるタッチパネル関連の受注量の増加により、売上高は3,011百万円(前年同期比109.9%)となりました。

(その他電気機器関連業種・・・日本、中国、マレーシアで製造、販売しております)

業況回復により、セットメーカーからのパネル・ラベル等の受注量が増加し、売上高は1,607百万円(前年同期比114.0%)となりました。

(輸送用機器関連業種・・・日本で製造、販売しております)

政府によるエコカー補助金等の景気刺激策により、自動車関連部品の受注量が増加し、売上高は542百万円(前年同期比123.4%)となりました。

(印刷業界関連業種・・・日本で製造、販売しております)

印刷業界関連は企業業績の低迷による広告費等の削減が影響し、売上高は133百万円(前年同期比91.5%)となりました。

(その他の業種・・・日本で製造、販売しております)

主にアミューズメント関連業種の受注量減少により、売上高は351百万円(前年同期比86.9%)となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は7,440百万円(前年同期比106.5%)となりました。利益面につきましては、営業利益は20百万円(前年同期は113百万円の営業損失)、経常利益は6百万円(前年同期は98百万円の経常損失)となりましたが、四半期純損益は投資有価証券評価損等の特別損失の計上により、86百万円(前年同期は105百万円の四半期純損失)の四半期純損失となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

イ 日本

売上高は5,012百万円、セグメント利益は7百万円となりました。

ロ 中国

売上高は1,952百万円、セグメント利益は28百万円となりました。

ハ マレーシア

売上高は475百万円、セグメント損失は23百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産の残高は11,847百万円(前連結会計年度末比484百万円減)となりました。これは主に、償還期限が一年以内となったため長期定期預金から現金及び預金に振替えたことにより、現金及び預金が177百万円増加した一方で、売上債権の回収により受取手形及び売掛金が174百万円減少したほか、上記振替えによる長期定期預金の減少500百万円等によるものであります。

負債総額は2,844百万円(同324百万円減)となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少175百万円のほか、賞与引当金の減少76百万円等によるものであります。

また、純資産は四半期純損失の計上及び配当金の支払等により利益剰余金が148百万円減少したこと等により9,002百万円(同159百万円減)となりました。以上の結果、自己資本比率は73.9%(同72.3%)となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、売上債権の減少、たな卸資産の減少等の資金の増加要因がありましたが、有価証券や有形固定資産の取得による支出等の資金の減少要因によって2,495百万円（前年同期比142百万円増）となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、第3四半期連結累計期間の税金等調整前四半期純損失79百万円、賞与引当金の減少額76百万円等の資金の減少要因はありましたが、売上債権の減少額99百万円、たな卸資産の減少額61百万円、投資有価証券評価損94百万円、減価償却費200百万円等の資金の増加要因によって293百万円（同919百万円増）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、有価証券の取得による支出101百万円のほか、有形固定資産の取得による支出366百万円等により、421百万円（同651百万円増）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、短期借入金の返済による支出（純額）38百万円のほか、親会社の配当金の支払61百万円等により101百万円（同24百万円増）となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期通期の業績予想につきましては、景気動向が依然として不透明であることから、現時点では平成22年5月14日に公表いたしました数値に変更はありません。なお、今後の業績推移に応じて修正の必要が生じた場合は速やかに公表いたします。

2. その他の情報

（1）重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

（2）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

（固定資産の減価償却費の算定方法）

減価償却費の算定方法として定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

（3）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

会計処理の原則・手続の変更

（資産除去債務に関する会計基準の適用）

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益は66千円減少し、税金等調整前四半期純損失は3,391千円増加しております。

表示方法の変更

（四半期連結損益計算書）

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純損失」の科目で表示しております。

（4）継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,971,790	2,794,303
受取手形及び売掛金	3,168,826	3,343,247
有価証券	238,757	133,979
商品及び製品	586,196	704,302
仕掛品	149,518	103,241
原材料及び貯蔵品	275,877	287,036
その他	48,300	64,955
貸倒引当金	△4,545	△6,062
流動資産合計	7,434,722	7,425,004
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,251,090	1,127,965
土地	1,648,508	1,601,204
その他(純額)	746,509	897,705
有形固定資産合計	3,646,108	3,626,876
無形固定資産		
ソフトウェア	8,007	9,580
無形固定資産合計	8,007	9,580
投資その他の資産		
長期定期預金	100,000	600,000
その他	739,042	755,929
貸倒引当金	△80,294	△85,028
投資その他の資産合計	758,748	1,270,900
固定資産合計	4,412,863	4,907,357
資産合計	11,847,586	12,332,361
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,785,179	1,960,468
短期借入金	65,192	111,648
未払法人税等	21,273	16,525
賞与引当金	76,189	152,200
その他	289,214	322,806
流動負債合計	2,237,048	2,563,649
固定負債		
長期未払金	102,842	101,445
退職給付引当金	468,740	474,365
その他	36,211	30,370
固定負債合計	607,794	606,180
負債合計	2,844,842	3,169,829

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,850,750	1,850,750
資本剰余金	2,272,820	2,272,820
利益剰余金	6,039,140	6,187,727
自己株式	△1,013,780	△1,013,717
株主資本合計	9,148,930	9,297,580
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	29,025	△22,461
為替換算調整勘定	△417,987	△355,982
評価・換算差額等合計	△388,961	△378,443
少数株主持分	242,775	243,395
純資産合計	9,002,743	9,162,532
負債純資産合計	11,847,586	12,332,361

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	6,986,602	7,440,664
売上原価	5,769,809	6,118,484
売上総利益	1,216,793	1,322,180
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	659,029	650,440
賞与引当金繰入額	28,589	28,563
退職給付費用	33,401	35,771
福利厚生費	116,731	120,854
貸倒引当金繰入額	1,919	1,153
その他	490,958	465,302
販売費及び一般管理費合計	1,330,629	1,302,086
営業利益又は営業損失(△)	△113,836	20,093
営業外収益		
受取利息	10,839	5,246
受取配当金	6,527	6,924
受取保険金	10,000	—
その他	27,967	35,195
営業外収益合計	55,334	47,366
営業外費用		
為替差損	30,651	59,169
その他	9,246	1,707
営業外費用合計	39,897	60,876
経常利益又は経常損失(△)	△98,399	6,583
特別利益		
固定資産売却益	597	36
投資有価証券割当益	—	9,226
貸倒引当金戻入額	943	4,743
特別利益合計	1,541	14,006
特別損失		
固定資産処分損	58	2,093
投資有価証券評価損	—	94,232
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	3,324
特別損失合計	58	99,650
税金等調整前四半期純損失(△)	△96,916	△79,059
法人税、住民税及び事業税	19,578	17,330
法人税等調整額	△9,678	△6,773
法人税等合計	9,900	10,557
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△89,616
少数株主損失(△)	△1,790	△2,962
四半期純損失(△)	△105,026	△86,654

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△96,916	△79,059
減価償却費	194,910	200,670
退職給付引当金の増減額(△は減少)	662	△5,624
賞与引当金の増減額(△は減少)	△82,542	△76,010
役員退職慰労未払金の減少額	△42,000	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,219	△6,250
受取利息及び受取配当金	△17,366	△11,741
受取保険金	△10,000	—
投資有価証券評価損益(△は益)	—	94,232
売上債権の増減額(△は増加)	△873,732	99,612
たな卸資産の増減額(△は増加)	△306,233	61,548
その他の流動資産の増減額(△は増加)	63,067	25,002
仕入債務の増減額(△は減少)	535,579	△68,040
その他	△1,803	60,772
小計	△637,594	295,111
利息及び配当金の受取額	17,366	12,159
保険金の受取額	10,000	—
法人税等の支払額	△15,810	△13,024
その他	—	△734
営業活動によるキャッシュ・フロー	△626,038	293,512
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△101,443	—
定期預金の払戻による収入	431,112	53,476
有形固定資産の取得による支出	△107,683	△366,646
有価証券の取得による支出	—	△101,253
その他	8,059	△7,241
投資活動によるキャッシュ・フロー	230,044	△421,664
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	356,352
短期借入金の返済による支出	—	△394,960
自己株式の取得による支出	△32,075	△63
配当金の支払額	△43,774	△61,931
その他	△874	△453
財務活動によるキャッシュ・フロー	△76,723	△101,056
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,558	△38,163
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△470,159	△267,373
現金及び現金同等物の期首残高	2,823,668	2,763,045
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,353,508	2,495,672

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

(セグメント情報等)

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)

当社グループは、接着剤付きラベル・ステッカー・パネル等の特殊印刷製品の企画並びに製造、販売という単一産業区分に属する事業を行っている専門メーカーですので、当該セグメント以外に開示基準に該当するセグメントがありません。このため事業の種類別セグメント情報の開示を省略しております。

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)

	日本 (千円)	アジア (千円)	計(千円)	消去又は全社 (千円)	連結(千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	5,403,139	1,583,463	6,986,602	—	6,986,602
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	956,212	44,117	1,000,329	(1,000,329)	—
計	6,359,351	1,627,580	7,986,932	(1,000,329)	6,986,602
営業利益又は営業損失(△)	△174,708	40,766	△133,942	20,105	△113,836

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

アジア…………マレーシア、香港、中国

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)

	アジア	計
I. 海外売上高(千円)	1,615,909	1,615,909
II. 連結売上高(千円)	—	6,986,602
III. 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	23.1	23.1

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

アジア……マレーシア、シンガポール、タイ国、インドネシア、フィリピン、香港、中国

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

〔セグメント情報〕

1. 報告セグメントの概要

当第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、接着剤付きラベル・ステッカー・パネル等の特殊印刷製品の企画並びに製造、販売を行っている専門メーカーであり、日本においては、当社及び三光プリンティング㈱が、海外においては、中国とマレーシアの現地法人が、それぞれの拠点を担当しております。

現地法人は、それぞれ独立した経営単位であり、各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しており、当社は、これらの拠点別を基礎とした地域別セグメントから構成されております。

したがって、これらの拠点における販売市場をそれぞれ別個のセグメントとして捉え、「日本」、「中国」、「マレーシア」の3つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			
	日本	中国	マレーシア	合計
売上高				
(1) 外部顧客への売上高	5,012,920	1,952,275	475,469	7,440,664
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,210,075	95,416	8,830	1,314,322
計	6,222,995	2,047,692	484,300	8,754,987
セグメント利益又は損失(△)	7,773	28,649	△23,565	12,858

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

当第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	12,858
セグメント間取引消去	7,235
四半期連結損益計算書の営業利益	20,093

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。